

独立行政法人国立病院機構指宿病院広報誌



菜の花

No.17

発行 独立行政法人国立病院機構 指宿病院
〒891-0498 鹿児島県指宿市十二町 4145 番地
TEL 0993-22-2231 (代表)
0993-22-2230 (ダイヤルイン)
URL <http://www.hosp.go.jp/~ibusuki/>

NHO IBUSUKI HOSPITAL 平成 21 年 12 月

「鹿児島県がん診療指定病院」に指定されました！

鹿児島県は、独自に県内がん診療の地域格差解消、均てん化の推進を図るために平成20年度から国が指定する「がん診療連携拠点病院」に加え「がん診療指定病院」を事業としてスタートさせております。当院は、11月1日付けでこの整備事業の指定を受けました。指宿地域でがん診療を行う拠点になる病院が必要なことと、当院のがん診療に取り組んできた実績が評価され承認を頂きました。

我が国のがん医療における発展はめざましいものがあり、最先端の先進医療で延命される患者さんが多くなってきています。しかし、いまだがんの終末期に於ける診療（緩和ケアやペインコントロール等）となると何処の病院もまだまだ発展途上と言えます。特に地方に於いてはその傾向が強く、平成18年度に制定されたがん対策基本法及びがん対策推進基本計画において国ががん診療に対して取り組む姿勢が強化されました。それを受け「がん診療連携拠点病院」が整備され、なおかつ鹿児島県では拠点病院でカバーできない地域に「がん診療指定病院」を整備することにしました。

当院に於ける「がん診療指定病院」の役割は、不幸にしてがんに罹患された患者さんに良質な医療はもとより安心して治療をしていただく診療を充実させることにあります。

具体的な活動として、

- 第1に緩和ケアを充実させます。入院患者さんの緩和ケアはもとより、新たに『緩和ケア外来』を開設し地域の方々のがんの痛みや苦しみを少しでも取り除けるよう努力いたします。その為に、専門の緩和ケアチームを発足させました。
- 第2に、がんに対する不安を和らげる為『がん相談支援センター』を開設しました。がんに関する事は、何でも相談できるような体制になっております。
- 第3に、指宿地域の開業医の先生達と連携を取りあい、地域でのがん診療の協力体制を整えました。また、院内外でがん診療に対する症例検討会（カンサーボード等）を定期的に行っています。
- 第4に、がんに対する統計データを国や県に提供しがん診療の発展に役立つよう『院内がん登録』を始めました。

このような活動をがん診療に活かし、指宿地域の住民の方々に役立っていくことを目標にしております。

そうはいつでも、新たに始めた分野も多くまだまだ勉強していかなければせっかく頂いた「がん診療指定病院」の名に恥じることになります。

当院では、この事業を益々発展させるため『がん診療指定病院運営委員会』を立ち上げました。委員会は、医師を含む総勢20名のスタッフで構成されがんに取り組んでいる様々な現場を支える事になっています。今後、患者さんに信頼されるがん診療の更なる充実を実行していけるよう頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(別記第2号様式)

鹿児島県がん診療指定病院指定通知書

独立行政法人
国立病院機構指宿病院
病院長 田中 達博 様

平成21年9月30日付けで申請のあった鹿児島県がん診療指定病院の指定については、鹿児島県がん診療指定病院設置要綱第3の規定により下記のとおり指定します。

平成21年11月1日

鹿児島県知事 伊藤祐一郎

記

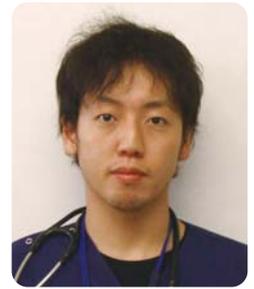
1 指定年月日	平成21年11月1日
2 指定番号	健増第504号
3 二次医療圏名	南薩保健医療圏
4 指定区分	総合

「姉妹病院締結による専修医臨床研修を終えて」

循環器科医師
清水 知彦

今年度4月より指宿病院での赴任となり6ヶ月間と短い間でしたが研修させて頂きまして誠にありがとうございます御座いました。

医師になって2年間九州医療センターでの初期研修を終え、後期研修2年間で循環器・救急を専門に後期研修をスタートさせ、また他病院での当直業務等に従事してきました。初期研修に至っては月に1回まわってくるかどうかの当直で、採血やバイタルとり、検査の為にストレッチャー押し、点滴を薬剤部に取りに行くなどの当直内容であり、福岡市内近隣で研修を行ってきた同期に比べて臨床診断能力に欠けていた面を自覚していました。学会関連の最新診療や研究には十分な環境でありましたが、内科医師としての基礎が不十分なまま専門診療をしていることに葛藤がありました。都会への若手医師集中により地域の医師不足が報じられている中、地域貢献の為に病院機構への研修希望を提出し、今回指宿病院への赴任となりました。



指宿病院は中隔病院であり地域診療所・病院からの紹介も多い病院という特色もあります。4月からは私の直属の上司であります田中新院長が救急診療を立ち上げに奮闘され、私も自らの経験も活かせればと日常診療、当直勤務に励んで参りました。患者背景としては高齢者が多く、慢性疾患の急性増悪も多い地域であり幅広い知識が要求される現場研修であり、また病院経営のことも考えなければいけない研修でもありました。糖尿病管理、超高齢者への栄養管理、肺炎を含め各種感染症に対する抗生剤投与等は自らの経験不足に加えて勉強不足もありましたが現場臨床経験により良い研修ができたと思います。また循環器研修に関しては循環器専門医である院長の元でペースメーカー植込み術の適応等を生意気にも討論し、基本的手技の習得もできたのではと感謝しております。

また、私とほぼ同期の仲良くさせて頂いた先生達とは、よく酒を飲みながらも病院の今後の為にはとよく討論をしたものでした。私自身はもともと救急診療に興味があった為、指宿病院での救急診療の立ち上げには赴任当初とても興味をもっておりました。設備的にもスタッフ教育にもまだ不十分な面があるのは当然ではありましたが、一番ストレスに感じたのは医師不足による医師一人に対する負担の大きさでした。慢性期患者を日常診療で行いながら限られたスタッフの中で当直、オンコール体制をこなしていくこと、また中隔病院であることからある程度の高度医療を提供し、その後の急性期管理を行わなければならないという使命感にはやはり疲弊感がありました。若手医師が地域医療から離れていることは周知のこと、都会であれドラマ「救命病棟24時」で描かれている様に救急離れが進んでいることは、いずれにしても医師不足が根底にあると痛感させられました。全国的にも鹿児島島の医師不足を報道され行政的にも対策が練られている段階で今回の赴任に至りました。救急現場においては救急診療の専門医で無くとも、幅広く内科研修を行った一般内科医、地域開業医を含めてそれぞれがカバーをし合いながら診療していくことが大切ではと深く感じ、今後の実戦に活かせればと思えました。

私のような一般内科も、救急も、循環器専門も、また研究も、と贅沢な理想の医師像を持つことが結局はすべて中途半端で何もできない医師になる可能性はあります。学位、認定医、専門医が重視される中で同じような考えを持つ医師は少ないとは思いますが、医師不足地域への貢献といった意識を持った時点で一度は経験をすることが今後診療にも活かせるはずと確信しています。また自らが中堅、上級医になった際にはお酒の場であっても後輩医師にここ指宿病院の良かった点や、愚痴を含めて変えていかなければいけない点の経験談を伝えることができ、興味を持って行動に出してくれればこの鹿児島県を含め指宿地域にも貢献できるのではと思います。

田中新院長、川畑先生をはじめ多くの先生方に御指導頂きまして誠にありがとうございます御座いました。また、看護師、事務職員、その他多くの職員の方々には色々無理を言って各々対応して頂きありがとうございます御座いました。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。ありがとうございました。

平成21年度救急・防災訓練に参加して

専門職 園田

平成21年9月6日(日)13時30分より、開聞運動場において指宿市、指宿医師会主催の救急・防災訓練が実施され、当院からも4人1組1チーム(外科医師宮川、外来師長上原、1F副師長中間、専門職園田)が参加しました。

訓練の基本想定は、県道において土砂崩れが発生し、付近を通行中の普通乗用車1台が土砂に埋没し、後続を走行していたマイクロバスがそれを避けようとしたが避けきれず、埋没車両に衝突し、多数の負傷者が発生したとの想定で実施されました。

この災害に伴い、「情報連絡・伝達訓練」「現地災害対策本部設置訓練」「立ち入り禁止・交通規制訓練」「救出・救助訓練、燃料流出等引火に伴う防御訓練、救護所設置訓練」「応急処置及びトリアージ訓練」「流出油消火訓練」が警察や消防、医師会関係者等により実施され、当院から参加したチームは、災害現場から最も近い場所での1次の現場トリアージを担当しました。

次々に運ばれる負傷者12名に対し、医師の診断に基づき「トリアージタグ」を記載し、負傷者の右手に付け、救護所に搬送してもらうという訓練内容でした。

救護所では医師会チームが2次トリアージを実施し、負傷者は各医療機関に搬送される想定となりました。

「トリアージタグ」を使ったトリアージ訓練は、初めての体験で最初戸惑いましたが、実際に経験して大変参考となる有意義な訓練でした。



出前講座実施報告書

1. 日時 平成21年8月20日(木) 14:10~15:30
2. 場所 小牧営農センター(指宿市小牧)
3. 依頼者 小牧老人クラブ(指宿市小牧)
4. 参加者数 28名
5. 講演等
演者: 東3病棟看護師、宮本 理学療法士
演目: 「日常生活における予防と注意点
~より良い生活を送るために~」

1. 日時 平成21年9月25日(金) 15:10~16:45
2. 場所 なのはな館 2F第1会議室
3. 依頼者 高齢者中央大学夏講座OB会
4. 参加者数 15名
5. 講演等
演者: 田中院長
演目: 「考えてみよう 高血圧と自分の健康」



指宿 菜の花通信

No.1

総合内科医師 中村一彦



定年医師、総合内科医をめざす。

18歳の成年男子が就職試験の健康診断を作成に来た。GOTが104と上昇していた。さて何だろうと思い、消化器内科の医師に診てもらうことにした。

「先生、この青年はここ数日激しい筋トレをしていて、念のためCPKをチェックしたら、1040と上がっていました。筋トレのためのGOT上昇で、病的なものではないようです。」

私は循環器専門ですので、CPKが上昇していると、筋肉由来のものを考える習慣はあるが、GOTが上昇していてそれは考えなかった。言われてみれば、当然であり、新米の「総合内科医」としては厚顔の至りであった。

この4月、国立病院機構鹿児島医療センターを定年となり、指宿病院非常勤医師（週3日）となり、総合内科医の辞令を受けた。

医師になって40年、その大半を循環器医師として働いてきたが、今後は総合内科医を担当することになった。

前の病院ではそれなりに循環器医師として認知されていたが、ここではそうはいかない。

循環器の患者さんを診ると、「今日は循環器専門の先生は診てくいやらんと」不満顔である。「すみません、私も一応循環器専門医ですけど」と弁解しながら診ている。

総合内科医ですので、風邪、腹痛、健康相談まで何でも診ることになる。循環器専門外来だけでやってきた「頭」を「総合内科」に切り替えなくてはならない。65歳の古ぼけた「頭」が切り替わるものが、楽しみだ。

独立行政法人国立病院機構指宿病院 外来診療担当医一覧

平成21年12月1日現在

診療科等		月	火	水	木	金	備 考
循環器科	午前	川 畑	田 中	田 中	中 村 肥 後	田 中	
総合 診療内科	午前	田 中	中 村	岩 屋	中 村	中 村	
神経内科	午前	(休 診)	橋 口	(休 診)	橋 口	橋 口	
消化器科	午前	藤 田	岩 屋	(休 診)	藤 田	岩 屋	
小 児 科	午前	熊 本	熊 本	荒 武	熊 本	荒 武	午後診療受付 14時～16時 (月・木曜日は15時00分より) 小児循環器 (第3金曜日: 要予約) 14時～16時 健診・予防接種受付 (月・木曜日) 14時～14時30分
	午後	荒 武	熊 本 (アレルギー)	荒 武	荒 武	荒 武	
外 科	午前	※吉留	※吉留	吉 留 木 原	吉 留 木 原	吉 留 木 原	※月曜・火曜 (8時30分～9時30分) は紹介、予約患者のみの診察
泌尿器科	午前	恒 吉	(手術日)	(午後のみ)	松 下	恒 吉	月・金曜日 診療受付9時～ 水曜日 診療受付14時～
	午後			恒 吉			
産婦人科	午前	新 村	新 村	新 村	新 村	新 村	1ヶ月検診 (月・木曜日) 診療受付 14時～ 午後の診療受付 14時～16時
	午後	新 村 更年期外来	助産師 授乳外来	助産師 授乳外来	新 村 午後外来	助産師 授乳外来	
放射線科 呼吸器科	午前	中 釜	(休 診)	中 釜	中 釜	(休 診)	
肝臓外来	午前			診察日			毎月第1週、第3週、第5週の水曜日のみ
血液内科						診察日	毎月第3金曜日のみ 予約制
内視鏡検査		岩 藤 藤 田	岩 藤 藤 田	岩 藤 藤 田	岩 藤 藤 田	岩 藤 藤 田	
緩和ケア外来					午後予約制	午後予約制	木曜日・金曜日の午後のみ 予約制

※受付時間は、8時30分から11時00分までとなっております。
土曜、日曜及び祝祭日は休診です。
なお、急患の方は随時受け付けいたします。
午後の専門外来（緑色）は予約が必要です。

面会時間 平日は午後2時から8時まで
土曜、日曜及び祝祭日は午前11時から午後8時まで